

令和 2 年度第 2 回理事会議事録

- 日 時 令和 2 年 9 月 25 日 (金) 15 時 00 分～16 時 05 分
- 場 所 会議室参加形式：ハートフルスクエア-G 中研修室 岐阜市橋本町 1-10-23
Web 参加形式：Zoom を利用
- 出席者 理事 25 名中 20 名出席 (会議室：12 名・Web：8 名)
監事 2 名中 2 名出席 (会議室：2 名)
オブザーバー 1 名出席
- (出席理事) 横井守 (議長)、神山誠、石黒時紀、桐山隆雄、狹場芳男、
津川文江 (Web)、田神康弘 (Web)、伊縫誠一郎 (Web)、
村瀬賢一 (Web)、安田光利 (Web)、岡田健治、小川泰弘、
河合隆一、熊澤利明、小出寿勝、高木章 (web)、渡邊正二、
下田勇 (Web)、阿部匡、加藤幸治 (Web)
- (欠席理事) 松井博幸、田村嘉伸、矢島達朗、高橋秀一、後藤隆吉
- (出席監事) 久富賢司、脇本敏雄
- (オブザーバー) まちづくり委員会歴史まちづくり部会 福田勝好

事務局 (渡邊専務理事)

令和 2 年度第 2 回理事会を開催いたします。

今回は会議室参加形式と Zoom を利用した Web 参加形式を併用して開催いたします。

出席者は、理事 25 名中会議室参加 12 名、Web 参加 8 名、合計 20 名出席、監事 2 名会議室参加です。

会長挨拶

皆さんこんにちは、令和 2 年度第 2 回理事会にご出席いただきましてありがとうございます。今回は初めて Web 会議を併用して開催します。音声等聞きづらい点があるかと思いますがよろしくお祈いします。コロナ禍の中、各委員会もリモートを活用して活動しているかと思ひます。定期講習や建築士試験の実施についてはコロナ対策をした上での運用に苦慮してひます。

今回、リモート対策として、パソコン、カメラ、スピーカーマイク等を購入したことを報告させていただきます。本日の理事会をお祈いします。

事務局 (渡邊専務理事)

理事会運営規則により会長に議長をお祈いします。

議事録署名者は定款第 36 条により会長及び監事にお祈いします。

会長（議長）

審議事項が議題 1 から議題 5 まであります。議題 1 について、専務理事から説明をお願いします。

I. 議 事

議題 1 顧問及び相談役の選任について

渡邊専務理事より資料に基づき、令和 4 年度定時総会の終結までの任期で、加藤達雄氏を顧問、元会長の土本俊行氏と藤井孝一氏の両名に相談役の就任をお願いしたい旨の説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 2 委員会委員の追加選任について

〈資料訂正〉

岐阜支部 村瀬賢一氏：まちづくり委員会副委員長からまちづくり委員に変更

渡邊専務理事より資料に基づき、事業研修委員会 2 名、まちづくり委員会 1 名の委員の追加選任について説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 3 会員の入会及び退会について

渡邊専務理事より資料に基づき、正会員 2 名、賛助会員 2 社の入会について説明がある。続いて、会費等の支払い義務を 2 年以上履行しなかった方、退会、死亡による会員資格の喪失の説明がある。なお、運営会議において、中津川支部の長尾修氏から退会届の提出があったのではないかと指摘があり、退会届提出の有無について確認させていただき報告がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 4 歴史的建造物委員会の設置について

渡邊専務理事より、先ほどの運営会議において指摘があり、本議題は、「まちづくり委員会中の歴史的建造物委員会（仮称）準備委員会の設置について」に変えさせていただき報告がある。

続いて、まちづくり委員会歴史まちづくり部会の福田勝好氏より下記のとおり説明がある。

令和3年度の文化庁補助事業である「(仮称)文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習会」事業への応募について連合会から依頼があり、そのために歴史的建造物委員会(仮称)準備委員会を設置したい。

岐阜県では平成23年頃にみの・ひだ文化財専門家育成研修を実施して23名ほど履修された。平成24年には、日本建築士会連合会がヘリテージマネージャーネットワーク協議会を設置して、全国では5,000名ほどのヘリテージ修了者が活動しているが、岐阜県ではその後ヘリテージの分野では増えていない。岐阜県としても県内に多数ある歴史的建造物を活かして、建築士としての職能として歴史的建造物の掘り下げも必要である。

地域に存在する歴史的文化財の保存、修理、活用のため、歴史的建造物に携わる専門家の育成のため、「(仮称)文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習会」事業として、講習会の実施と受講修了者の登録、歴史的建造物委員会準備委員会の設置、伝建地区等の所属する市町村との協議、組織の規約作成等に取り組んでいきたい。

ヘリテージマネージャーには、60時間のカリキュラムの受講要件があるが、みの・ひだ文化財専門家育成研修修了者は60時間に満たない方もあり、DVDでの受講者もいる。みの・ひだ文化財専門家育成研修をヘリテージマネージャーへの講習にあてることは連合会会議において話をしている。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題5 その他

なし

II. 報告事項

報告1 業務執行理事からの報告について

津川岐阜支部長の代理として田神理事、安田西濃支部長、小川各務原支部長、河合中濃支部長、熊澤可茂支部長、小出東濃支部長、高木中津川支部長より資料に基づき、支部の活動報告がある。

神山副会長より資料に基づき、事業研修委員会、青年委員会、建築士試験担当委員会の活動報告がある。

石黒副会長より資料に基づき、総務委員会、まちづくり委員会の活動報告がある。

桐山副会長より資料に基づき、情報・広報委員会、会員増強特別委員会の活動報告がある。

狭場副会長より資料に基づき、女性委員会の活動報告がある。

報告2 木を活かす建築推進協議会との役務契約について

渡邊専務理事より資料に基づき、改正建築物省エネ法オンライン講座資料・解説図書の配

布について、木を活かす建築推進協議会と役務契約を締結し、事務局において 5 種類の製本資料とオンライン講座で掲載している説明動画 DVD を無料で配布している旨の説明がある。

報告 3 令和 2 年度からの建築士試験及び免許申請について

渡邊専務理事より資料に基づき、建築士試験合格者セミナーテキスト作成スケジュール、建築士試験に係る実務経験の対象実務の見直し、一級建築士新規登録申請における必要書類等について説明がある。

報告 4

横井会長より、次回の理事会を 2 月 19 日（金）に開催する予定である旨説明がある。

脇本監事より、すでに複数の委員会を Web 会議で実施しているところもあるが、各委員会の活性化にもなり、委員の参加者も増えるようになるかと思しますので、Web 会議を啓蒙していただき、委員会への委員出席率のアップにつなげていただきたいとの発言がある。

以上をもって、本日の議事は全て終了したので議長は閉会を宣して、午後 4 時 05 分に散会した。

上記決議を明確にするため本議事録を作成し、出席した会長及び監事が次に記名捺印する。

令和 2 年 9 月 25 日

公益社団法人 岐阜県建築士会

議 長 印

監 事 印

監 事 印